



「ファミリーデー」について

7月のファミリーデーは、おうちの方20名の参加がありました。暑い日でしたので、いろいろな水遊びを親子で楽しんでいただきました。また、「食」に関する取り組みとして、しそジュースを作って飲んだり、三種類の味噌を使って味噌汁を作り、味比べをしたりしました。「食」の取り組みは、今後も栄養士のはるひさんが、保護者の方のご要望に応える形で、親子でできる調理を一緒にやってくれます。前は、タルタルソース作りをしました。

当日は、
朝…お子さんの普段の登園時間に一緒に登園、身支度を整えて遊びます。
昼…お子さんと一緒にランチをいただきます。
キッチンスタッフ手作りのおやつもあります。
夕…おやつ終了後は、園庭で普段のお迎えの時間まで遊びます。

朝から夕までの一日を
子どもと共に。

ファミリーデーは、
目的 ○我が子と一緒に行動し、遊びや生活の様子を見たり一緒にいたりする。
○我が子と同じ時間（8～11時間）を園で過ごし、子どもの一日を理解する。

お願い
園では上述のことを目的として実施しています。既にお願ひしております通り、参加時間は、お子さんの通常の登園、降園時間に合わせていただきたいと思います。お子さんとの一日を優先してご参加くださいますよう、ご協力をお願いします。

—たる—

お願い

- 水筒の中には、お茶か水を入れてください。身体を冷やすため、氷は入れないで下さい。
- 着替えや靴、ハンカチ、水筒、リュックに必ず記名をお願いします。

保護者子育て支援講演会

9月16日と12月16日に、外部講師をお招きして子育て講演会を行います。日頃の子育てについての悩みや質問を、後日詳細をお知らせするお手紙で募集します。参考になるお話が聞けるとますので、是非ご参加下さい。

8月の予定

- 1日(火)…おおきくなったかな(身体測定)
- 8日(火)～10日(木)…ファミリーデー
- 14日(月)～18日(金)…夏季保育
- 23日(水)…避難訓練
- 30日(水)…誕生会
- 29日(火)～31日(木)…ファミリーデー申し込み期間

*7月～9月はお弁当の日はありません。

バス散歩
3・4・10・24・25・31日(木・金)

入園

井上 ゆいかさん(かりん)
やまものすみれのまなさんの妹
岩田 あきはさん(かりん)
ひいらぎのやまぶきのあやとさんの妹
新しいお友だちを宜しく申し上げます。

9月の予告

- 12日(火)～14日(木)…ファミリーデー
- 16日(土)…保護者子育て支援講演会
- 26日(水)…誕生会

感染症の感染状況とお願い

○コロナ・インフルエンザ（コロナ感染有り、インフルエンザ感染ゼロ）

コロナは、5類になりましたので、濃厚接触者という定義はなくなりました。従って、本来ならば、家族が陽性になっても、園児が休まなければならないということはありません。

しかし、集団生活の場で、陽性者が1名出た場合には、園内での感染は瞬く間に拡大することになります。ご家庭の都合もあるかと思われませんが、これまで通り、＜ご家族のどなたかが体調が悪い場合には、その方がコロナ・又はインフルエンザ陰性と診断されるまで、お子さんを休ませるなどのご協力をお願いいたします。＞

【コロナ感染状況】

| 7月感染した人 | 数 | 備考 |
|---------|---|---|
| 家族(軒) | 4 | お家の方の体調が悪い段階で、園児も休ませてくださった方(3軒) 園児登園後に、家族の感染が判明した方(1軒) |
| 園児 | 1 | 家族内感染 |
| スタッフ関係 | 1 | 家族が感染したため休みをとる |

○その他の病気

・ヘルパンギーナ、手足口病、溶連菌感染症、ウイルス性胃腸炎(ノロ、ロタ、アデノウイルス等)

RSウイルス感染症などは、出席停止にはなりません。園で平常の生活が送れない場合には、お休みをお願いしております。治癒しましたら、登園してください。(保護者記入の登園届で登園できます。用紙は、年度初めの重要事項説明会資料にはさんであります。用紙を使用しましたら、予備の用紙を差し上げますのでお声をかけてください。)

※平常の生活が送れない場合とは⇒ 食事がとれない、戸外では遊べないなどの状態

・嘔吐、下痢・水様便、**37.5度以上の発熱は、お迎え**をお願いしています。また、早退した時間から24時間はお休みをしていただきます。

兄弟で在籍している場合には、感染症ではないと診断されるまで、登園を控えてくださいますようご協力をお願いします。(コロナ感染も出ていますので、熱などのかぜの症状には留意していただきたいと思ひます)

お願い

免疫力が弱い **0・1・2歳児** に関しては、かぜによる熱、咳、鼻水であっても、他児への感染はします。

日頃より、バランスのとれた食事（野菜の煮物なども入れて）、十分な睡眠（10時間）、ストレスの軽減（親元を離れての長時間保育は、子どもの心身の負担となります。なるべく早めのお迎えや、親御さんがお休みの日は、家庭保育でのんびりと過ごすことで疲労回復になります）をお願いします。

0・1・2歳児の時期は、親子の愛着関係を築く大切な時期です。愛着関係を築けたかどうかは、将来にわたって、学習・人間関係・仕事・家庭生活などにおいて影響を及ぼすと言われていいます。愛着は一生のうちの、この3年間でほぼ決まるとされており、後戻りはできませんので、大切にしていきたいと思ひます。

だっこ、おんぶ、ハグなどのスキンシップ（子どもが甘えたい時はいつでも、沢山）と、優しく温かい言葉のボイスシャワーは、愛着関係作りの基盤となります。